

# 北海道医療センターニュース



# 山の手だより



【理念】「人と自然の健康と調和を大切にす医療を実践します」

- 発行所/  
独立行政法人 国立病院機構  
北海道医療センター
- 発行責任者/  
事務部長 小野寺 正逸

札幌市西区山の手5条7丁目1-1  
電話(011)611-8111  
FAX(011)611-5820  
ホームページアドレス/  
<http://www.hosp.go.jp/~hokkaidomc/>

## 第6号(新年号) 2013年1月発行

### 年頭のご挨拶

院長 菊地 誠志



新年あけましておめでとうございます。

平成24年は、4月からDPC対象病院の仲間入りをし、診療状況に大きな変化が予想されました。9ヶ月が経過し、全体的にはほぼ適切に対応できたのではないかと思います。リスタートプラン2年目の平成25年度も、着々と事業を進めていくことが出来そうです。

昨年度(平成23年4月から平成24年3月)の病院評価(国立病院機構144病院をシステムティックに本部が評価)の結果が届きました。経営面での評価は、いまだ十分とは云えないのは、予想通りでしたが、医療面での評価は、トップ10にランクされていました。これは、胸を張って誇りとすべきことです。平成24年度は、経営面でもあきらかに進化しておりますので、次の評価が楽しみです。

11月16日(金)、17日(土)、神戸で、第66回国立病院総合医学会が開催されました。これは、全国国立病院のすべての職種を対象とした学術集会であり、また、各種の委員会が多数招集されます。当院からは、37演題の発表と66名の参加者がありました。初期研修医も含めて初めての発表で緊張していたひともおりましたが、発表後の充実感・達成感は格別だったようです。さらに、「北海道医療センター神戸の夜」(懇親会)は、45名の参加があり大成功でした。同じ職場で働く仲間として、一体感を確認できました。来年の金沢での企画に期待します。

神戸は、見事に大震災からの復興に成功しました。学会参加者のひとりが、震災の記念碑を訪れようと、タクシーに乗って行き先を告げたところ、ドライバーが知らなかったということを知りました。ある意味で、復興は完成・終了したのかなとも思いますが、災害はいつどこで発生するか分かりません。当院は災害拠点病院に指定されており、11月8日、9日に災害訓練を行いました。机上訓練と、模擬患者を使ったトリアージから初期対応までの実地訓練です。全体の流れを把握するという面で、とても有用でした。来年は、さらにグレードアップして、一部公開で実施します。また、災害時の救急医療を盤石にするために、自家発電の能力を倍増する計画を策定しました。

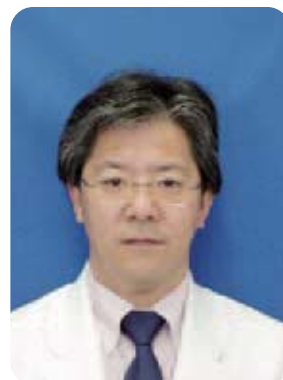
附属看護学校では、キャンドルライトフォーワーディング(1年生がろうそくの灯(ナイチンゲール精神)を受け継ぐというセレモニー)が行われました。その厳かな雰囲気と、1年生の真摯な言葉に、改めて医療人としての使命というものを考えさせられました。

さて、平成25年は巳年ということです。巳年は「草木の生長が極限に達して次の生命が作られ始める時期」ということで、当院にとっても、うれしい年の巡り合わせです。

医学とヘビということでお話します。「ヘビと杖」の組み合わせは、「アスクレピオスの杖」といわれ、医学の象徴とされてきました。世界保健機関(WHO)のエンブレムにも描かれています。アスクレピオスは、ギリシャの神で、アポロンの子です。死に行く母親から、ヘビと犬の助けによって産み落とされ、その後、山中で薬草の知識を得ました。死者をも蘇らせたとのことでゼウスの怒りを買って、雷光で焼かれます。その後、アポロンの願いにより、天の星として「へびつかい座」となりました。ヘビは智恵(wisdom)を表すと云われます。今年一年、精一杯「智恵」をつくり、ヘビの動きの様に柔軟な発想で困難を乗り越えて行きたいと思えます。

## 「胸が苦しいと感じたら」

循環器内科医長  
竹中 孝



皆様、新年明けましておめでとうございます。

凍てつく日々が続きますが、体調はいかがでしょう？

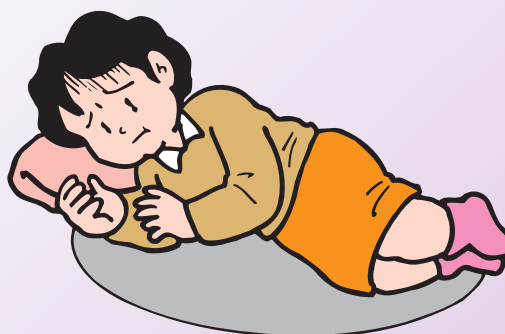
寒い時期には心筋梗塞が多くなります。急性心筋梗塞の多くは、心臓に酸素や栄養を送っている血管(冠動脈)に傷がつき、そこに血の固まりが付着して塞がってしまうために発症しますが、「寒さ」が血圧を上昇させ(血管が傷つきやすくなり)、また血液を固まりやすくするからです。冬には特に以下の点に注意して下さい。

- ① 野外に出るときは、防寒着をしっかり、特に顔や手を冷やさないように帽子・マフラーや手袋を着用しましょう。
- ② 入浴時には、脱衣所・浴室は暖かく、お湯の温度はやや低め(我慢するほど熱いと血圧が上がります)、入浴前後に水分補給、入浴前のアルコールは禁物、高齢者・心臓病の方が入浴中は家族が声かけ、血圧180mmHg以上では入らない、などを心がけて下さい。
- ③ 朝起きたらコップ1杯の水分を補給しましょう。

しかし、如何に注意しても病気が起こってしまうことはあります。万一「胸が苦しい」と感じたら、早目に病院を受診しましょう。心筋梗塞の際に特徴的な胸の痛みは、

- ・ 痛みの場所は、胸の真ん中辺りで、肩やあご、歯などに放散することもあります。
- ・ 重苦しい、あるいは絞めつけられるようなつらい痛みで、息苦しさ・吐き気や冷汗を伴うことがあります。
- ・ 持続時間は10分以上で、死への恐怖を感じる方もいます。

などですが、これらが全て揃うわけではありません。今までに経験したことのない苦しさであれば、大げさと考えずに救急車を呼んで下さい。特に顔色が悪く、冷や汗をかいていたら危険です。本人が近所迷惑とか仕事を休めないなどと言っても、家族の方が決断して下さい。治療の基本は、閉塞している冠動脈をできるだけ早く再開通することですが、15分遅れるごとに死亡率が上昇してしまいます。北海道医療センターでは心疾患を専門とする医師が24時間常駐しており、緊急を要する検査や手術をいつでも行える体制が整っています。しかし、到着後どれだけ早く治療が開始できても、患者さんが発症早期に受診してくれないと意味がないのです。



## 冬来る

整形外科医長  
宮城 登



冬になって雪が積もるようになってきました。そのため整形外科には滑って転んで骨折したり、除雪をして肩や腰の痛みを訴えて来院する患者さんが増えております。当院の周囲の信号機付近の横断歩道は冬季の間は大変滑りやすくなっておりますので、横断に際しては若い方であっても十分な注意が必要です。私も横断歩道では冬の間は歩行者信号が点滅し始めたら急いで渡るようなことをせずに、次の青信号を待つようにしております。また駐車場で自動車から乗り降りするときには必ず下が氷っていないか確認するようにしております。雪がたくさん積もると除雪しなければなりません、焦って一気にしようとせずにこつこつと少しずつすることが大切です。冬場のけがには十分ご注意ください。

さて、当院は平成22年3月に国立病院機構西札幌病院と国立病院機構札幌南病院が統合して開院しました。その際に整形外科も合併統合し、整形外科の常勤医は3人となっております。当科では整形外科一般を診療しておりますが、特に下肢疾患は専門的に診療しております。お年寄りの大腿骨頸部骨折では速やかに手術を行い早期離床をはかっています。膝半月板損傷や他の膝関節疾患にも多くの関節鏡手術を行っています。外反母趾やリウマチによる足部変形に対しても装具治療や変形矯正手術を行っています。また少子化の現在、小児の整形外科的疾患を診療できる施設も少なくなっておりますが当科では先天性内反足や骨系統疾患によるO脚などの小児下肢疾患の症例も数多く治療しています。下肢疾患以外の重度疾患についても専門的治療が必要と判断された場合には大学病院等との連絡をとり専門医に治療方針を仰いでいます。スポーツによる骨折や靭帯損傷、慢性的なスポーツ障害も診療しております。交通外傷などの急患に対しても毎日受け入れ態勢をとり対応しておりますので気軽にご連絡ください。

## 看護師募集中



\*連絡先: 田中看護部長 TEL: 011-611-8111 (6150)



# 北海道医療センター災害訓練報告

庶務班長  
中小田 潤

平成24年11月8日(木)、9日(金)の2日間、北海道医療センターとしては初の大規模災害訓練を延べ199名参加の下開催しました。

当院はオープンと同時にNHO、北海道、札幌市から災害拠点病院としての指定を受けておりましたが、災害拠点病院の役割を果たすには程遠い災害対策マニュアルしか整備されておらず、昨年度より新たな災害対策マニュアルを作成し、新しいマニュアルが機能するかの検証も含め訓練を行いました。

1日目は、災害概論、北海道医療センター災害対策マニュアルの構成等の講義の後、10人1組でグループを作り机上訓練を行いました。ほとんどの職員にとっては初めての体験で開始早々はぎこちない時間が流れましたが、各テーブルのファシリテーターの適切なアドバイスにより、様々なミッションに協力しながら対応して本番さながらの訓練を経験することが出来ました。

2日目は、当院の災害対策マニュアルのポイントも頭に入り、前日の机上訓練のモチベーションを維持しながら実働訓練を行いました。

事前に演技指導を受けた看護学生41名を患者役(迫真の演技でした)として動員し、災害対策本部、外来対策本部、トリアージポスト、各診療エリアを災害対策マニュアルに基づき立ち上げました。

今回の訓練では、災害時トリアージポスト設置場所を院内最西端R1室前に設けましたがPHSの電波状況が悪く、本部との通信が機能しないことが判明したのは大きな収穫でした。

初めての訓練で他にも上手く機能しないこともありましたが、約1時間で41名の患者さんのトリアージを終え訓練を終了いたしました。

前述の通りマニュアルが機能するかの検証も目的の一つでしたので機能しなかった部分については、今後問題点を整理してマニュアルの改定を年度内に行う予定でいます。

最後に参加者からは、災害対策マニュアルに基づいた設定だったので、非常にわかりやすく、改善点もイメージできたとの感想が聞かれたと同時に、毎年訓練を繰り返し行うことの必要性が実感できたとの感想も多く聞かれました。

北海道医療センター災害対策マニュアルのポイント及び災害訓練実施報告を第66回国立病院総合医学会にて発表させていただきました。



菊地院長もプレイヤーとして机上訓練に参加しています



現場指揮(外来対策本部) 現場コントロールの要です



災害対策本部です



トリアージポストです。研修医を中心にトリアージしました

## 「市民向け講演会」開催

経営企画室長  
橋場 美紀

11月3日(土)14～16時、西区区民ホールにおいて「市民向け講演会」を開催しました。

当日はあいにくの雨降りでしたが、開始1時間以上前から市民の方にお越しいただき、30前にはすでに20名近い方々がお待ちの状況だったため、開始時間を10分早め13時50分から菊地院長の挨拶でスタートしました。

メインの講演会に先立ち、「測定コーナー」で血管年齢・体組成・運動代謝・血圧・腹囲の測定、「相談コーナー」では医師、看護師、栄養士、薬剤師、医療ソーシャルワーカーによる相談も無料でいき、いずれのコーナーも人気があり順番待ちの状態でした。

また、塩分の多い食品を展示しながらの減塩食品サンプル配付や、最新画像診断機器の紹介や脳卒中の薬物治療と他病院との連携に関するポスター展示では、ふだんなかなか聞く機会のない内容に皆さん興味深く耳を傾けていました。

15時からは、安喰脳神経外科医長による「寝たきりにならないために」の講演会を行いました。脳疾患ごとの詳しい治療方法や、日常生活で心がけるべき「脳卒中予防十か条」の説明に皆さん真剣にメモをとり、アンケートでも「自分の身体のがわかり、本当に良かった。毎年講演会をお願いします」

「(北海道医療センターが)医療内容が充実していることを知り、心強く思いました」などのご意見をいただきました。

今後も市民の皆さまに喜んでいただけるイベントを企画していきたいと考えています。



菊地院長の挨拶でスタート



看護師による血圧と腹囲測定



塩分の多い食品の展示



医療・精神保健福祉相談



講演会  
「寝たきりにならないために」



菊地院長と安喰医長による健康相談



運動代謝(カロリー消費)測定



血管年齢と体組成測定  
(体脂肪率、筋肉量、推定骨量、  
体内年齢、内臓脂肪等)



体の中を見てみよう(CT、MRIの紹介)



お薬相談



## 職場紹介

### 3-3病棟

看護師長 春口 優紀

3-3病棟は腎臓内科、糖尿病・脂質代謝内科、耳鼻咽喉科、リウマチ科、眼科の5科の混合病棟になります。腎臓内科は腎不全・糖尿病性腎症等の治療と主に血液透析・腹膜透析を目前にした患者の保存的療法から透析導入・維持に関わる治療・看護を行っています。糖尿病・脂質代謝内科は、糖尿病の治療とクリニカルパスに沿った教育入院を計画的に行っています。糖尿病全般に関することを糖尿病教室・栄養指導・リハビリテーションを通して学び、退院後の自己管理ができるように自己血糖測定・インスリン自己注射の指導・低血糖時の処置法などの指導を行っています。リウマチ科は、関節リウマチ・全身性エリテマトーデス・皮膚筋炎等の治療や、治療薬(レミケード・アクテムラ・エンブレル)による短期入院の患者様が主で、日常生活援助を必要とされる患者様の看護を行っています。耳鼻咽喉科は、主に咽頭癌・喉頭癌・舌癌・副鼻腔炎等手術入院、その他めまい・鼻出血・急性咽頭炎の治療・看護を行っています。眼科は白内障の手術入院で、3泊4日の短期間入院の患者様が主になっております。

当病棟の入院患者様の年齢層は多岐にわたり、患者様自身が疾患・治療を十分理解し、退院後も自己の管理を行っていただけるように、日々の看護を他職種と連携しながらスタッフ一同最善を尽くしております。どうぞよろしくお願いたします。



### 5-2病棟

看護師長 本間 賛

当科は当院最上階の5階に位置する結核病棟です。病棟東側の窓からはJRタワー・テレビ塔・札幌ドームなどや、花火大会イベントなど、市内を一望できる病棟です。病床数は50で、鎌田有珠医長と網島優医長の2名、病棟師長と副師長を含む看護師17名、看護助手1名の構成メンバーで運営しております。病棟内の空気は常時フィルターを通した屋内外の循環となっており、丁寧な細菌管理がされています。

札幌市内で結核治療に携わる病院は、当院を含め3箇所ありますが、50床は最大収容数、病棟として機能しているのは当院のみとなっています。とはいっても感染症である結核罹患が増えるのは、望ましいもの

ではなく、実際のところ僅かずつですが減少傾向にあります。万が一結核と診断された場合には、一定期間の入院を要し、外出を控えて頂くなど、御不自由な生活をお願いすることになります。スタッフ一同、結核撲滅を理念に、そのような入院生活への、出来る限りのサポートを行っています。



## 第66回 国立病院総合医学会を終えて

教育担当看護師長 成田 眞寿美

11月16日～11月17日の2日間に渡り、神戸国際会議場・国際展示場の2会場で第66回国立病院総合医学会が開催されました。

学会のテーマは、「国立医療 未来と希望のきずな」です。国立病院機構の絆を強くし、未来に向かってそれぞれの役割を果たすことで医療の向上を目指すという趣旨のもと、他施設の発表を聞き、そして私たちの日頃の研究成果も多くの方々に聞いていただきました。この2日間は多くの新たな発見、気づきがあり大変有意義な時間を過ごすことができました。

今回の学会には、当院から口演が6演題・ポスターセッションが31演題、計37演題を登録しました。その中でベスト口演賞を荻子仁泰放射線技師、ベストポスター賞を村田明子栄養士がそれぞれ受賞し、二人の日々の研究や患者様の立場に立った取り組みが学会で評価されたのです。来年は是非私たちも賞をいただこうと、思いを新たにしました。今回、学会で得た情報・研究の内容を当センターの医療の質の向上に役立てていきたいと考えています。



ポスターセッション風景



## 改修工事のご案内

北海道医療センター開設から間もなく3年が経過しますが、高度総合医療センターとして更なる充実を図るべく、平成25年度を目途に院内用のICU整備と手術室増室を計画しております。

新たに院内ICUを4床整備し、院内の重症患者を集中して治療することが可能となり、救急のICU6床も有効に活用できるようになります。

また、手術室については、手術件数が年々増加していることから、現在の5室から1室増室することで効率的な運用が可能となり、臨時手術にも速やかに対応できるようになります。





# クリスマスコンサート

管理課長 若崎 由

今年も、また、クリスマスコンサートがやって来ました。

☆12月15日(土)札幌市医師会混声合唱団員30名によるミニコンサートが外来ホールで開催されました。



▲合唱風景



☆12月21日(金)長尾地域医療連携室長の呼びかけで、職員中心で構成した北海道医療センター室内合奏団によるロビーコンサートが外来ホールで開催されました。



▲演奏風景



▲長尾地域医療連携室長挨拶

☆この日を楽しみに待っていた、入院患者様やご家族の方々がたくさん来てくださいました。

当院では年間をとおして  
ボランティアコンサートを  
募集しております。

問合せ先: 011-611-8111(管理部 若崎)







平成24年度国立病院機構北海道医療センター  
「神経・筋疾患」研修会

日時：平成25年2月16日(土) 13:30 ～ 15:20  
場所：TKP札幌カンファレンスセンター 6階 カンファレンスルーム6A  
(札幌市中央区北3条西3丁目1-6 札幌小暮ビル)  
※公共交通機関をご利用ください。  
JR線「札幌駅」南口より徒歩4分、札幌駅前地下歩行空間1番出口より徒歩1分

～ 多発性硬化症 from 北海道 ～

- 13:30 開会の挨拶  
国立病院機構北海道医療センター 神経内科医長 土井 静樹  
(北海道難病医療ネットワーク連絡協議会会長)
- 13:40 ～ 14:10  
1. 一般講演 「多発性硬化症の看護 ～過去・現在・これから～」  
医療法人セレス「さっぽろ神経内科クリニック」 理事・看護部長 西山 和子  
座長:北海道医療センター 神経内科病棟看護師長 鈴木 穂波
- 14:10 ～ 15:10  
2. 特別講演 「多発性硬化症の歴史と現況 ～北海道の貢献を中心に～」  
北海道大学名誉教授、北祐会神経内科病院顧問 田代 邦雄  
座長:北海道医療センター 神経内科医長 土井 静樹
- 15:10 ～ 15:20  
3. 質疑応答

※ 参加ご希望の方は別紙出席申込書でお申し込み下さい。  
なお、定員の120名になり次第、締め切りとさせていただきますので予めご了承ください。  
締め切り後にお申し込みがあった場合は、ご連絡いたします。  
(申し込み後、こちらからの連絡がない場合は出席可能です。)

主催：独立行政法人国立病院機構北海道医療センター (Tel:011-611-8111)  
共催：北海道難病医療ネットワーク連絡協議会  
後援：北海道、北海道医師会、札幌市医師会

この研修会は北海道医師会の承認を得て、北海道医師会認定生涯教育講座(1.5単位)として開催いたします。

【カリキュラムコード 10 チーム医療、19 身体機能の低下、36 視力障害、視野狭窄】

- 本講座は、北海道医師会が生涯教育制度に則り参加された方々のデータを登録いたします。  
芳名、医籍登録番号の記載にご協力下さいますようお願いいたします。
- ご記入いただきました情報は、本講演会実施報告書の作成のみに使用いたします。

編 集 後 記

新年あけましておめでとうございます。

昨年12月は毎日のように降り続く雪の多さと、非常に厳しいクリスマス寒波に辟易しましたが、「1年間の降雪量はある程度決まっている」との見解を信じ、1月以降はきっと雪が少ないぞと期待しています。寒さはこれからが本番ですが、12月の冬至を過ぎれば陽は1日1日長くなり、これから少しずつ陽の光が強くなるのを期待しています。というようなことを述べたら、「随分と楽観的な考えですね」と言われました。

厳しい状況を目の当たりにすると楽観的になるのかな?などとも思いますが、当院は今年1年も引き続き厳しい状況に直面するのかな?などと悲観的にならずにやって行きたいと思います。

本年も広報「山の手だより」をよろしく願いいたします。

発行責任者 事務部長 小野寺 正逸

# 外来担当医師一覧

(平成25年1月4日現在)

【受付時間】午前8:30～11:00 午後1:00～3:00(一部の科のみ)

※1)土曜・日曜・祝日は休診 ※内科の午後は完全予約制

国立病院機構 北海道医療センター

| 診療科        |                | 月曜日                                      | 火曜日   | 水曜日  | 木曜日   | 金曜日   | 備考  |  |
|------------|----------------|--|---|--|---|---|---|--|
| 内科         | リウマチ科<br>(膠原病) | 午前<br>午後                                 | 市川<br>—   | 竹内<br>市川   | 市川<br>—   | 竹内<br>市川  | 市川<br>竹内<br>午後は完全予約制  |  |
|            | 呼吸器内科          | 午前<br>午後                                 | 小倉<br>中山  | 山本<br>—  | 中山<br>—   | 小倉<br>網島  | 山本<br>—<br>午後は完全予約制   |  |
|            | 呼吸器内科②         | 午前                                       | 鎌田  | —  | 網島  | —   | 鎌田<br>午前診療のみ  |  |
|            | 糖尿病・脂質<br>代謝内科 | 午前<br>午後                                 | 中垣<br>担当医   | 加藤(雅)<br>担当医                                     | 加藤(雅)<br>担当医  | 加藤(雅)<br>中垣                                     | 加藤(雅)<br>担当医<br>火・水・金曜日の担当<br>医はオンコール対応<br>午後完全予約制                  |  |
|            | 消化器内科          | 午前<br>午後                                 | 中原(初診)<br>大原  | 木村(初診)<br>—                                      | 渡邊(初診)<br>大原  | 霞内(初診)<br>—                                     | 担当医(初診)<br>渡邊<br>初診/再診<br>完全予約制<br>完全予約制                            |  |
|            | 消化器・アレルギー科     | 午前                                       | 田中(道)   | 田中(道)  | —   | 田中(道)   | —   |  |
|            | 腎臓内科           | 午前<br>午後                                 | 宮本(再診)<br>—   | 石川(初診)<br>—                                      | 河田(初診)<br>河田(再診)  | 山村(初診・再診)<br>山村(再診)                             | 河田(初診)<br>—<br>総合診療科は河田医師(月～金<br>曜日、午前)で紹介制/腎臓内科<br>初診と兼任/月曜日午前再診のみ |  |
|            | 循環器内科          | 午前<br>午後(予約)                             | 岡本(初診)<br>野澤<br>佐藤(不整脈)<br>岡本<br>武藤(SAS)<br>佐藤(不整脈) | 寺西(初診)<br>井上(仁)<br>乗安<br>寺西<br>井上(仁)<br>乗安       | 佐藤(初診)<br>寺西<br>竹中<br>岡本<br>寺西<br>竹中  | 岡本(初診)<br>小松<br>藤田<br>岡本<br>武藤(SAS)<br>藤田       | 竹中(初診)<br>寺西<br>武藤<br>竹中<br>—<br>ベースメーカー外来                          | 初診/再診<br>再診<br>再診<br>午後予約制<br>※SAS=睡眠時無呼吸症候<br>群]の専門外来(予約制)  |
|            | 神経内科           | 午前<br>午後(一般)<br>午後(専門)                   | 藤本<br>新野<br>田代<br>難病相談外来                            | 菊地(誠)(再診)<br>土井<br>藤木                            | 南<br>新野<br>—  | 土井<br>藤木<br>—                                   | 南<br>菊地(誠)(再診)<br>—   | 月曜日午後の難病相談<br>外来は北海道難病医療<br>ネットワークからの紹介患<br>者様に限る<br>午後完全予約制 |
|            | 外科             | 外科                                       | 午前<br>午後  | 高橋(宏)<br>—<br>高橋(宏)                              | 蔵谷<br>—   | 伊藤<br>菊地(健)                                     | 植村<br>—<br>植村   | 岡田(奇数週)<br>担当医(偶数週)<br>第4週・高橋(宏)                             |
| 小児外科       |                | 午前<br>午後                                 | —<br>—  | —<br>—   | —<br>—  | —<br>—  | —<br>—  |  |
| 呼吸器外科      |                | 午前                                       | 井上(玲)   | —  | 大坂  | —   | 井上(玲)   | 午前診療のみ   |
| 心臓血管外科     |                | 午前                                       | —<br>—  | 石橋(初診)<br>川崎                                     | —<br>—  | 石橋(初診)<br>森本                                    | —<br>—  |  |
| 整形外科       |                | 午前<br>午後(予約)                             | 新納<br>宮城  | 宮城<br>—  | 高橋(士)<br>新納   | 高橋(士)<br>—                                      | 宮城<br>新納  | 初診/再診<br>再診<br>午後完全予約制                                       |
| リハビリテーション科 |                | 午前                                       | 高橋(士)   | —  | —   | —   | —   | 午前診療のみ   |
| 脳神経外科      |                | 午前<br>午後                                 | 安喰<br>—   | 安田<br>—  | 担当医<br>—  | 牛越<br>牛越(脳血管内治療外来)                              | 担当医<br>—  | 水・金曜日の担当医は初診のみ<br>木曜日午後は専門外来<br>【完全予約制、初診は紹介のみ】              |
| 小児科        |                | 午前(一般)<br>午前(専門)<br>午後(紹介・予約制)<br>午後(専門) | 荒木<br>長尾(神経・成長発達)<br>田中(藤)<br>荒木(腎臓)                | 長尾<br>荒木(腎臓)<br>森井<br>田中(藤)(遺伝・<br>代謝・遺伝カウンセリング) | 長尾<br>荒木(腎臓、偶数週)<br>田中(藤)(遺伝・代謝・<br>遺伝カウンセリング、奇数週)<br>若井(脳波・神経、第1・2・3週)<br>荒木(腎臓) | 荒木<br>長尾(遺伝・代謝・<br>遺伝カウンセリング)<br>長尾<br>森井(小児保健) | 田中(藤)<br>長尾(アレルギー)<br>田中(藤)<br>荒木(腎臓)                               | 完全予約制<br>紹介又は予約制<br>完全予約制                                    |
| 泌尿器科       | 午前             | 第2・4月曜のみ<br>笹村/清水                        | 笹村<br>—   | 清水<br>—  | 笹村<br>—   | 清水<br>—   | 午前診療のみ<br>午後は検査・手術  |  |
| 婦人科        | 午前<br>午後       | 内田(初・再診)<br>齋藤/大隈(再診)<br>—               | 大隈(初・再診)<br>河井(再診)<br>—                             | 齋藤(初・再診)<br>齋藤(再診)                               | 女性医師外来<br>10:00～14:00   | 河井(初・再診)<br>河井/天濤/内田(再診)                        | 木曜日は女性医師による診察<br>午後完全予約制  |  |
| 皮膚科        | 午前<br>午後       | 廣崎(予約制)<br>塚本(予約制)<br>—                  | 塚本(予約制)<br>—<br>廣崎(アレルギー・腫瘍)                        | 廣崎<br>塚本<br>—                                    | 廣崎<br>塚本<br>—   | 廣崎(予約制)<br>塚本(予約制)<br>—                         | 午後は予約制専門外来<br>【火曜日午後は<br>第3週を除く】                                    |  |
| 耳鼻咽喉科      | 午前<br>午後       | 鈴木/前田<br>鈴木/前田                           | 担当医<br>—  | —<br>—   | 鈴木/前田<br>—  | 鈴木/前田<br>—                                      | 火曜日完全予約<br>制  |  |
| 眼科         | 午前             | 中村/金(ジン)                                 | 中村/金(ジン)  | 中村   | 中村/金(ジン)  | 中村/金(ジン)  | 午前診療のみ  |  |
| 精神科        | 午前             | 担当医(初診)<br>—                             | 松永(初診)<br>岩田(再診)                                    | 岩田(初診)<br>神(再診)                                  | 担当医(初診)<br>松永(再診)   | 神(初診)<br>担当医(再診)                                | 当院入院中の方<br>のみ   |  |

※都合により、代診・休診となる場合がございますので、事前にお電話にてご確認ください。(代表 011-611-8111)